

議会広報

vol.13

かみいち



「つるぎの味蔵」の店頭に並ぶ上市町のおみやげ



目次

9月定例会の要点	……………P2	議会新体制スタート	……………P12～P13
常任委員会報告	……………P3	視察報告	……………P14～P15
一般質問	……………P4～P10	町民の声・お知らせ	……………P16
追跡レポート	……………P11		

発行
上市町議会 2017年11月

編集
議会広報特別委員会

KAMIICHI

平成29年9月定例会の 審議の要点

平成29年度一般会計補正予算
5595万円を増額し

総額**99億6150万円**

平成29年9月定例会は、9月1日から13日までの13日間にわたって開かれました。

今年度の補正予算、条例改正、連携協約の締結、昨年度の決算、以上の16議案について審議を行い、議案はすべて原案のとおり可決・承認・認定しました。追加議案の教育委員と人権擁護委員の任命・推薦に同意。意見書1件を採択。

本定例会では議員7名が、町政一般に対する質問（一般質問）を行いました。

町長および議員は10月16日に任期満了を迎えることから改選前の最後の定例会となりました。

専決処分の承認

臨時福祉給付金の見込み人数増加に対応する事業費。
(議案第45条)

一般会計の補正予算

地域創生インターンシップに代わる東京大学のワークショップ関連事業費158万円、運転免許更新に要する高齢者講習の補助金200万円、小学生の通学・防災用ヘルメット購入費328万円、小学校の施設整備費1053万円など。
(議案第46号)

病院事業会計の補正予算

臨床研究の事業費290万円など。
(議案第47号)

道路案内標識条例の改正

道路標識に関する国

の法令改正に連動して、標識番号の対応を図るため上市町の条例を改正。
(議案第48号)

字の区域の廃止

地籍調査の結果を受けて、従前の字（あざ）を廃止。
(議案第49号)

連携中枢都市圏の連携協約締結

富山市・滑川市・上市町・立山町・舟橋村の2市2町1村で連携中枢都市圏を形成するため、基本方針や役割分担を定める連携協約を富山市と締結。
(議案第50号)

決算の認定

平成28年度の上市町一般会計をはじめ、土地取得事業などの特別会計7件、水道事業会計、病院事業会計の決算を

それぞれ認定。
(議案第51号から第60号まで)

教育委員の選任

穴戸美喜子さん（再任）と高島善与さん（新任）の任命に同意しました。
(議案第61号)

人権擁護委員の選任

種田清市さん（新任）の推薦に同意しました。
(議案第62号)

意見書の採択

「道路整備予算の総額確保と道路財特法による補助率の嵩上げ措置の継続に関する意見書」を採択しました。



補正予算で整地する宮川小学校のグラウンド



農家の「収入保険」の導入



伊東 俊 治 議員



議員 農家の収入保険制度は。

産業課長 収入保険制度導入の意義については、現行農業共済制度の問題を解消し、経営発展に取り組む農業経営者を育成するため、創設されている。農業経営者ごとの収

入全体を対象とした総合的なセーフティネットになるものである。従来の農業共済では、自然災害で収量が下がった場合は補填されたが、収入保険はそれに加えて価格が低下した場合も補填の対象になる。また、野菜や花

卉（かき）など共済に加入できなかった品目も対象になる。収入保険制度は、当年の収入が過去5年間の平均収入（基準収入）の9割を下回った場合に下回った額の9割を補填するものもある。ただし、加入条件は青色申告を最低でも1年

前から行うことが必要となる。

議員 農業経営の変化は。

産業課長 平成28年度食料・農業・農村白書によると農業経営体の経営状況は、10年間で販売農家数は32%減少し、法人経営対数は2・2倍に増加しており、農産物販売金額全体に占める法人経営体のシェアが約12ポイント（27・3%）増加している。町では、13営農組織のうち、現在6組織が法人化している。

議員 従来の保険制度との兼ね合いは。

産業課長 それぞれの制度の対象者、補償内容等が異なる中で、農業者がそれぞれの経営形態に応じて適切なセーフティネットを利用できるよう選択加入制になっている。具体的には平成31年度より現行の農業共済・ナラシ対策・野菜価格安定制度等と収入保険制度のどちらか一方を選択できるようにになっている。

議員 今後の農業経営で重視すべき点は。

産業課長 経営戦略を立てて農地を集積、担い手を確保することである。引き続き、県・農協等の関係機関と連携し、各々の相談にも対応していきたいと考えている。





堀田喜久男 議員

相ノ木駅にトイレ設置を望む 笠尻山の緑化復元を急がせよ

Jアラート周知と避難方法・意識の徹底を
定期点検で受信確認
避難方法は周知を図る

議員 北朝鮮によるミサイル発射で、関係12道県がJアラート（全国瞬時警報システム）等で避難を呼び掛けた。7道県16市町村で防災行政無線から音声流れないトラブルが発生。当町は問題ないか。

また、具体的避難方法等も含め、避難意識の高揚など、改めて周知徹底すべきと考える。

総務課長 当町では、定期的にJアラート等の点検及び全国一斉訓練で受信確認を実施し、確実な情報伝達が行えるよう備えている。

避難方法については、ミサイルの落下時の爆風等の対策として、屋外では頑丈な建物に避難。建物が無い場合は、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。屋内では、

極力窓の無い部屋に移動頂きたい。また、内閣官房のポータルサイトで、特別なサイレンも聴衆できる。

住民へは、町ホームページ、町内会への回覧、防災訓練時に周知しており、引き続き周知に努めたい。

**駅にトイレ設置を望む
マナー向上に努めたい**

議員 町内4駅中、相ノ木駅のみトイレがなく、駅ホーム周辺で用を足す者もいると聞く。環境衛生上、是非、公衆トイレ等の設置が望まれると考える。

企画課長 駅の立地上、トイレ設置が困難な事から、近傍である新相ノ木駅の新設に繋がっており、駅舎、トイレ、駐車場を整備したところだ。今後は、富山地方鉄道と連携し、利用者のマナー向上の啓発に努めて参りたい。

議員 近未来的には、トイレ設置も視野に入れ、検討して頂くよう改めて要望しておく。



トイレ設置が望まれる
相ノ木駅

**随時、緑化に取り組み
県に強く働きかけたい**

議員 稲村・笠尻山の岩石等採掘終了部分から随時緑化に取り組みなど、緑化復元計画はどうなっているのか。

また、大規模な土砂崩れなど、人為的な災害を引き起こす事は想定出来ないか。

産業課長 岩石採取は、所在地を管轄する都道府県知事の認可を受けて行われるもの。当然ながら、計画には採掘終了時緑化を実施することが明記され、県は定期的にパトロールし、終了箇所については一部緑化の指導をしていると伺っている。町としても、景観・環境に十分配慮するよう、引き続き県に強く働きかけて参りたい。また、人為的災害を引



景観破壊と人為的災害を懸念

き起こす要因への懸念に對しては、認可基準に基づいて許可されている事から、人為的な災害はないものと理解している。

議員 緑化復元に対し、改めて県に強く求めていきたい。また、人為的災害への懸念は、昨今の豪雨等を鑑みて常に最悪を想定し、万全な備えをしてほしい。現場での人的被害はなくても、土砂が川に流れ込めば、下流域の河床上昇による氾濫も想定できる。

一般質問

「いじめは」絶対許されない。

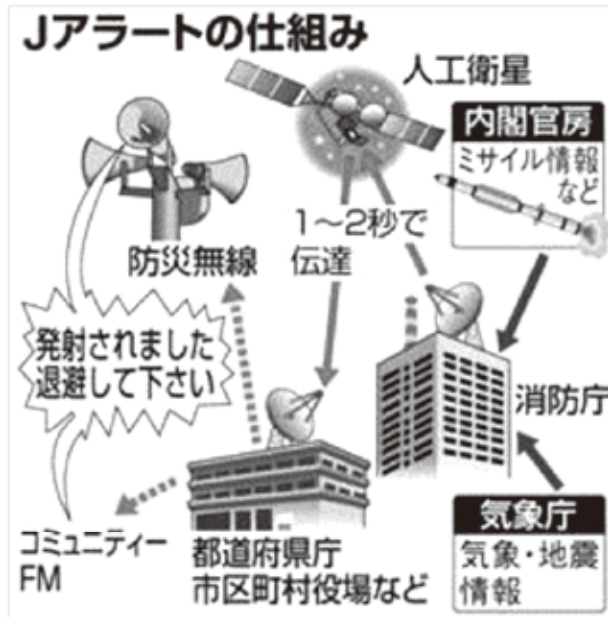


伏黒日出松 議員

Jアラート等の情報伝達システムの点検管理について

議員 定期的に全国一斉情報伝達訓練において、昨年11月の受信訓練では不具合はなかったか。今年度の訓練実施予定は、

総務課長 定期的に全国瞬時警報システム「Jアラート」の受信機の状態や設定の点検をするとともに、全国一斉情報伝達訓練に於て受信確認を実施し、確実な情報伝達が



行われるよう備えている。昨年11月の訓練では受信機器や防災行政無線に不具合はない。今年度も予定されているが日程は未定である。日程が決まったら町ホームページや広報で周知する。

障がい者の就労状況は

議員 障がい者を雇用する会社があるが、上市町における経営状況はどうか。
福祉課長 就労支援サ-

ビスとして、障がい者と事業所が雇用契約を結ぶ就労継続支援A型と雇用契約を結ばない就労継続支援B型がある。新聞報道にある事業所は、労働局の「特定求職者雇用開発助成金」などを目当てにして事業を開始し、結果破たんし、大量失職に影響を与えたといわれる。

上市町内では就労継続支援A型の事業所が1箇所、4人が就労している。町外で利用する方も11人いらっしゃるが、倒産等による失職の心配はしていない。

町では570万円を支出しているが、仕事に必要な技術や社会生活の訓練などを受けるための給付であり、障がい者の賃金のための給付ではない。なお、県では事業所の実態調査を行っており、町としても状況を注視していく。



「いじめ」の実情実態は

議員 「からかい」や「ちょっかい」などを含めたいじめの実情実態はどうか。

教育長 「いじめ」は継続して存在している。「からかい」や「ちょっかい」といったトラブルや、SNSなどのネット上での誹謗中傷も「いじめ」であり双方への事実確認の上、保護者への説明を行っている。被害にあった生徒には、臨床心理士等の緊急配置を行い心のケアを行っている。

中学校では毎月、生徒に対して「いごちアンケート」の実施と生徒の様子や様々な声掛けを行い、いじめの早期発見に努めている。小学校においても子供たちの言動を把握し、気になることには適切な指導を行っている。

国・県の「いじめ防止基本条例」の改定に沿って、「上市町いじめ基本方針」を改定した。内容はいじめを「解決」としていたが「解消」とし明確に定義した。また、重大事態に対する町長の再調査などを追加した。





成川 友 仁 議員

議会での指摘を受け、 視察対応の充実へ着実な取り組み

議員 これまでの定例会で行った町政一般に対する質問で、前向きな答弁を頂きながらも具体化が進んでいない案件を主に問う。

公共交通と住民参加

鉄道やバスの利用者が主体の意見交換会を

既存の会議で要望対応

議員 鉄道やバスなど公共交通に関わる一般住民参加の機会につき、取り組みの状況は。

町単独で企画を立てるのが難しいなら、都市工学や都市デザインに詳しい大学の知恵を借りるのも一法。

企画課長 町では地域公共交通会議を設置し、協議のうえバスの利便性改善を図っている。この会議はバス事業者、道路管理者、国、地域住民代表

が出席。

県内外の大学との連携は、今後必要に応じて検討する。



上市町に関わる東京の大学生たち

国民の祝日「山の日」

山の日を生かせる可能性
通年で生かせる可能性

議員 山の日(8月11日)の前後幅のある期間において、山の恵みに関わる取り組みを幅広く支援しては。

産業課長 仰せのとおり8月11日に限定する方針ではない。町では2月開催の剣岳雪のフェスティバルや10月開催のフォト

ロゲイニング大会も、山の日の趣旨に見合う催しと認識している。そのような位置付けのもと、催しの定着を図りたい。

行政視察への対応充実

ここ1年の取り組みは
各種の試みを継続

議員 昨年6月の議会
で、視察対応の充実策を
伺った。部局を横断する
協力体制づくりなど前向
きな答弁を得たが、その
後の取り組みはどうか。

企画課長 上市町への視察を希望する担当者との事前協議を密にし、対応する職員の事務軽減を図っている。当日の現地案内では、各課を超えた協力体制を構築している。継続的な研修により、職員の資質向上に努めている。

ここ1年の視察受け入れの傾向として、空き家対策や町営住宅の整備、防災分野に関する内容が多い。

対応改善の継続的な取り組みにより、視察団体からは、高い評価を頂いている。

外国人と催しの国際化

外国人誘客の工夫は
意見を伺い多様化対応

議員 フォトロゲイニングは今年から大会規模を急拡大。英語で行う参加者募集など、外国人の誘客と催しの国際化に向けた工夫は。

産業課長 募集の締め切り期限を待たずに定員400名を超える応募あり。外国人は2名が参加申し込み。今回チーム内の意思伝達により、通訳なく参加できるとのこと。
次期開催に向けて外国人の方々から意見を伺い、多様化する参加者への対応を図る。



広く参加者とサポーターを募った第3回フォトロゲイニング大会

一般質問

職員の資質の向上と一致協力で施策の推進を！ 高校再編は魅力ある学校づくりの議論



酒井 健之 議員



上市町役場

上市町の行政運営と展望はなにか

議員 今期限りで引退を表明した伊東町長の実績に敬意を表して、5期20年間の取り組みをどう評価するのか。

町長 評価は議会や町民に任せる。大災害がなかったことなどに「ほっと」

した。町政を振り返り、市町村合併で単独町政を貫いたことや2000年

国体、財政再建では、下水道事業やかみいち総合病院の建て替えて起債が増え、実質公債費比率がピークの2008年に22・1%と高かったが、昨年度で14・5%に改善し、おおむね適当な数値になった。厳しい時もあった。

だが、財政は一つも心配することはない。職員の協力に感謝している。

議員 今後の上市町の進路をどのように伝えていくか。

町長 2020年に利用開始を目指している上市スマートインターチェンジ（IC）の整備は、将来の町の形を大きく変えていく。職員は「今の力を十分発揮すれば、他に負けないまちづくり」ができる。新町長の下で頑張ってくれることで、安心して去ることができ

高校再編をどのように考えているか

議員 現状認識をどう把握しているのか。

町長 今後の中学卒業予定者数の推移に鑑み、更なる再編統合について検討するため、県内において意見交換会が開催され、集約が行われていると認識している。

議員 今後の上市高校の対応をどのように考えているか。

町長 上市高校は、今回の再編対象になっていないが、学校は地域にとって重要な役割を担っており、単純に学校数・学級数の問題ではなく、魅力ある学校づくりとなるように議論が尽くされることを期待する。



上市高等学校





伊東 憲 議員

住民に寄り添い、時には中央権力にも負けない姿勢 上市町の自治を守る

議員 国政の責任

少子高齢化、農林業、野生動物問題

渦まく渦巻く住民要望の中の奮闘

平成の合併問題に町が揺れた時も「よほどのことがない限り自治を手放せない」と上市町の自治を守られた。

学校の統廃合の時世に對しても、白萩や柿沢地区に若者の町営住宅を建設し校区の存続にも力を尽くされたこと。

街中再生のため、住民有志の運動に呼応しカミールを再建されるなど他に模範を示すものだ。

最も感銘したことはなに

か 今後の町政に託すことは伊東町長 感銘したことは職員の行動力と事務力。

国体、ふるさと観光まつり、雪のフェスティバルに会計検査院に対する対応力など。職員の行動力と事務力には感銘した。

資質向上に努めてほしい

職員は存在感を高め、

各人がサラリー分を働いたと自負できるように、資質向上に努めてほしい。

自分の立ち位置をしっかりと自覚して、お互い協力のもと事業を進めてほしい。

議員 都会から農業を希望する若者の呼び込みと受け入れ体制を

人口増対策、地域力を高めるには町の小企業・農業の再生が必要だ。そのためにもどうするか？成例はいくつもある。

町職員・住民・議員が力を併せて

実現のため本気になって取り組む体制づくりが必要だ。富山県はヘリコプターでの除草剤散布に反対して全国から若者が集い、43年間にわたり草刈り鎌で草を刈り続けている、全国でも注目されている地域だ。この精神の根底には土を守ることがある。こうした若者が

都会から富山県に移住、定住し有機農業を続けている。

農林業の再生は地域の活性化、人口増にも繋がります。

土に親しみ、農林業をやりたいという若者は都会に無数におられることは間違いない。

お世話の体制が必要だ。

産業課長 上市町の農業の再生・継続は、今後も取り組んでいかなければならない重要課題と認識している。「都会から農林業を希望する若者の呼び込み」については、地域おこし協力隊を活用し、「地産品の消費拡大」や「農業に関する支援」などの活動テーマで募集しているが、現在、応募者がいない状況であり継続して募集を行っている。その受け入れ体制は、まず、地域の方々が目指すべき将来像を描き、地域の活性化策の提案と、協力隊を受け入れるための協力体制の構築が重要

と考えている。その上で宿泊等の問題は、地域、関係団体、行政など関係者間で連携を図りつつ、検討を重ねて参りたいと考えており、議員各位の更なる支援をお願いしたい。

議員 後継者がなく、この後10年も経ったら、この地域の農業はどうなるのか？イノシシなど野生動物に作物が荒らされやる気がなくなる。都会から農業希望者の受け入れ、立山町、氷見市、朝日町からみても遅れている。責任を転嫁するのでなく、役場職員、議員、住民が力を合せねばならない。



一般質問

ネットトラブル防止 小学生もルール作り検討



酒井恒雄議員

上市中学校ネット、ルール事業、読書他関連について

議員 情報ネットワークの普及が著しい現代社会において、ネット依存等により生活のリズムが乱れる子供達の増加や、画像投稿によるトラブルや犯罪被害等の発生が懸念される事から、安全で適正なネット利用を学び、交流サイト等のトラブルを防ぐため、今後全校集会以ネットルールを発表されると聞いており、良い事例を小学校高学年にも提起出来ないか。

教育長 上市中学校は、生徒が自らネットを正しく活用するためルール作りに取り組み今月下旬に全校集会以内容を発表する。また小学校の間でもネットのトラブルが起きているため、中学校の取り組みを検討。

議員 新聞を読み活かす授業を考えられないか。

教育長 新聞は読解力や社会性の向上に役立つものと捉えており、今後も学校教育の中の様々な場面での活用を促していきたいと考えている。

議員 14歳の挑戦が毎年

実施されているが自分磨き力になっているのか。

教育委員会事務局長 各職場で体験を通してしっかり挨拶する事、時間をまもることへの意識の高まり、地域とのつながり、

体験における周囲の大人の見守りを実感、仕事に対する責任の重大さを感じ保護者への感謝の気持ち深まり将来を思い描くにあたり、自分を見つめる機会ともなっていると考える。



議員 観光資源を生かして入り込み人口増を図るため、ドローンで上空撮影し町の良さを動画発信出来ないか。
産業課長 町の観光資源を内外に啓発する手法として、小型無人機ドローンを活用した上空動画を撮影し、ホームページや駅待合室で配信することは、観光資源の発信に有効な手段であると考えている。ただ動画の配信方法や撮影方法、撮影の時期など、事業、実施には時間を要するものと思われるので、実施内容を吟味し、来年度予算要求時に改めて検討したいと考えているのでご理解をお願いする。

追跡レポート

その後実った議会での提案・要望

庁舎付近に駐輪場の設置を

平成29年6月議会質問

その後

上市町役場の正面玄関のすぐ脇に、小規模な駐輪場が整備された。

なお従来からある駐輪場は、収容台数は多いものの、役場前駐車場の端に位置しているため、正面玄関まで数十メートル歩く必要がある。



学校に防災用ヘルメット配備を

平成29年6月議会質問

その後

上市町内の小学生全員に、通学用および防災用として多目的に使うことができるヘルメットを支給することが決定。購入費が補正予算化された。



〔全国研修会〕

議会広報クリニック参加報告

広報クリニックとは

去る7月5日（水）、東京で開かれた議会広報の研修会を受講しました。成川委員長、伊東副委員長、堀田前委員長、および事務方1名が上市町から参加。

クリニックは診療所を意味する言葉です。その名のとおり全国各地の町村議会が広報（議会だより）を持ち寄って、専門家に診療いただきます。指摘事項につき、優れたところは更に伸ばし、足りないところは改善を図ります。

6町村の合同研修

今回、富山県上市町のほか、福井県池田町、京都府久御山町、京都府南山城村、大阪府熊取町、和歌山県由良町の5町村が受診。

互いの広報から学ぶ合同研修となりました。



議会広報クリニックの会場

評価ポイントは

議会広報かみいちへの評価点は、以下のとおりです。

まず、「追跡レポート」をはじめとして、議会の監視機能を発揮している点が適切とのこと。また、「視点」や「町民の声」のように、住民登場欄が多彩に企画されている点も良好とのこと指摘です。

改善すべき点は

全般的に、見出しの工夫が求められます。例えば一般質問では、議員の質問事項と当局の答弁を併記して、問答型の見出しにするとうい。委員会で、課名よりも具体的な事業名やテーマを見出しにすると読まれやすい。

写真の説明書きは、写真を見れば分かるものではなく、本文への誘導を図るものとしたい、といった指摘も頂きました。



議会広報かみいちを講評する芳野先生

議会新体制でスタート

10月1日に行われた上市町議会議員選挙で12人の議員が決定し、10月19日の上市町議会臨時会で議長に松谷英真議員、副議長に堀田喜久男議員が選出され、常任委員会等の議会構成も決定しました。



町議会各委員会等新構成

(◎ 委員長、○ 副委員長)

【議長】

松谷 英真

【副議長】

堀田 喜久男

【総務教育常任委員会】

◎ 勝戸 謙 ○ 成川 友仁
 松本 寛 伊井 勇治
 宝嶋 洋子 酒井 桂之

【産業厚生常任委員会】

◎ 酒井 恒雄 ○ 堀田 喜久男
 寺西 庄司 松谷 英真
 伊東 俊治 碓井 憲夫

【議会運営委員会】

◎ 酒井 桂之 ○ 成川 友仁
 伊井 勇治 勝戸 謙
 碓井 憲夫 酒井 恒雄

【産業振興対策特別委員会】

◎ 成川 友仁 ○ 碓井 憲夫
 寺西 庄司 勝戸 謙
 酒井 恒雄 酒井 桂之

【アルプス縦貫トンネル促進特別委員会】

◎ 堀田 喜久男 ○ 伊井 勇治
 松本 寛 松谷 英真
 伊東 俊治 宝嶋 洋子

【議会広報特別委員会】

◎ 勝戸 謙 ○ 伊井 勇治
 松本 寛 堀田 喜久男
 宝嶋 洋子 酒井 恒雄

【監査委員】

宝嶋 洋子

【富山地区広域圏事務組合】

松谷 英真 勝戸 謙

【滑川中新川地区広域情報事務組合】

堀田 喜久男 伊井 勇治
 松本 寛

【中新川広域行政事務組合】

酒井 桂之 酒井 恒雄
 成川 友仁 寺西 庄司

【富山県東部消防組合】

松谷 英真 勝戸 謙

新議員紹介 任期 平成 29 年 10 月 17 日～平成 33 年 10 月 16 日

①政党 ②当選回数 ③最終学歴 ④職業 ⑤生年月日

まつもと ひろし
松本 寛 議席番号 1
大永田



- ①無所属 ②1回
- ③北陸工業専門学校
- ④自営業
- ⑤昭和 45 年 6 月 27 日

てらにし しょうじ
寺西 庄司 議席番号 2
下経田



- ①無所属 ②1回
- ③中京法律専門学校
- ④会社役員
- ⑤昭和 33 年 3 月 14 日

い い ゆうじ
伊井 勇治 議席番号 3
大坪



- ①自民党 ②1回
- ③北陸工業専門学校
- ④会社員
- ⑤昭和 32 年 7 月 28 日

なりかわ ともひと
成川 友仁 議席番号 4
中江上



- ①無所属 ②2回
- ③京都大大学院
- ④自営業
- ⑤昭和 48 年 8 月 15 日

ほりた きくお
堀田 喜久男 議席番号 5
飯坂新



- ①無所属 ②2回
- ③富山経済専門学校
- ④農業
- ⑤昭和 28 年 3 月 1 日

まつたに えいしん
松谷 英真 議席番号 6
館



- ①自民党 ②4回
- ③大谷大短期大学部
- ④僧侶
- ⑤昭和 32 年 7 月 8 日

かつと けん
勝戸 謙 議席番号 7
東江上



- ①無所属 ②4回
- ③上市高
- ④農業
- ⑤昭和 21 年 2 月 28 日

いとう しゅんじ
伊東 俊治 議席番号 8
法音寺



- ①無所属 ②4回
- ③県理容美容専門学校
- ④理容業
- ⑤昭和 17 年 4 月 7 日

たからじま ようこ
宝嶋 洋子 議席番号 9
青出新



- ①無所属 ②5回
- ③富山女子短大
- ④保険外務員
- ⑤昭和 29 年 4 月 8 日

うすい のりお
碓井 憲夫 議席番号 10
広野新



- ①共産党 ②7回
- ③東洋大
- ④社会保険労務士
- ⑤昭和 22 年 2 月 22 日

さかい つねお
酒井 恒雄 議席番号 11
広野



- ①自民党 ②8回
- ③上市高
- ④農業
- ⑤昭和 21 年 10 月 19 日

さかい かつゆき
酒井 桂之 議席番号 12
森元町



- ①社民党 ②9回
- ③富山工高
- ④団体役員
- ⑤昭和 18 年 7 月 15 日

4年間よろしくお願ひします

視察報告

産業振興対策特別委員会

月1億円の売り上げ

産直市場グリーンファームを訪問

産業振興対策特別委員会では7月6日、長野県伊那市の放棄田の真ん中にある「産直市場グリーンファーム」を視察しました。当市場は日本全国だけでなく東南アジアからも視察が続いています。創立者（現会長）の小林文麿氏は富山県にも2回にわたり講演にいられており、上市町のカメラ内の売場、上市街なか元気塾にも直接訪問して指導いただいています。

農家+法人+お客さん↓対等

*2500人の生産者が主役

産直市場グリーンファームには約2500人の生産者が結集する生産者の会があり、自主運営されています。毎日来られる野菜農家、秋の生産期のみは松茸生産者、冬の炭焼生産者など、生産者が産直市場の主要なお客さんでもあるのです。

法人は生産者に対して売れ残りの処分などの負担はかけないことに留意しており、残りものはヤギなど動物の餌などに使うようにしています。地元でないもので、お客さんの要望があるものは、世界から仕入れていきます（マンゴー等）。

*おもしく・自由な雰囲気

食料品だけでなく、動物のヤギ（草の処理用に



↑グリーンファームの店内



↓店長との意見交換

貸し出しもしている）、図書売場、古物売場（農機具もある）などいろいろな出合いがあり、時間が早く過ぎていきます。親切で優しく、おもてなしに溢れています。

*従業員を大切にしている
フルタイムで働ける方は全て正社員。社員間の平等を実現しています。

【意見】
法人の利益のみでなく、生産者と従業員、地域を大切にする姿勢に学ばせていただきました。

アルプス縦貫トンネル 促進特別委員会

アルプス縦貫トンネル促進委員会は7月13日、新潟市内の国土交通省北陸地方整備局を訪問しました。古来越中の時代から隣接県でありながら、県境を直接つなぐ幹線ルートがない、富山県と長野県。

武将「佐々成政」が試みた、北アルプス越えの「さらさら越え」が伝説になるほど、行くことが困難でしたが、私達としては、新幹線が開業された今、県民が総ぐるみで取り組む、次の県の「ビッグ・プロジェクト」は、この、富山・長野を結ぶトンネルしかないと思っています。今すぐ実現するとは思っていませんが、北陸新幹線が開業し、大きな人の流れができれば強固な物流体制が求められます。来たるべき日に備え、必要性和重要性を、「道路調査官」小山浩徳氏に訴えました。今回大きな問題になったのは、馬場島の道は県道、大町の道も県道、まずここから解決していかなければならない。これからは富山県東部の県議会議員と連絡を取り合って進めていきます。

翌14日には大町市役所を敬訪問し、副市長・議員が迎えてくださいました。大町市からは訪問の度に、大変勇気をいただき、感謝の思いでいっぱいです。



国土交通省北陸地方整備局にて

議会運営委員会

6月27日に長野県飯綱町議会を訪問しました。飯綱町（いづなまち）の人口は11,600人と上市町の半数の町です。リンゴの生産で有名な町です。

今回の議会運営委員会の視察目的は議会改革を学ぶため、先駆者である飯綱町を訪問しました。改革は当事者・関係者自らが改革の意識をもって取り組み、実行していかないと目標達成はないと教わりました。

飯綱町では、議会改革の根幹である議会基本条例を制定し、より開かれた議会となるように努力されています。町長とは切磋琢磨する議会を目標にし、町民の声を行政に反映させています。議会事務局の人事にも、議長が権限を発揮して決定にいたっています。さらには議長の選出も年功序列や輪番制でなく、希望者が政策提言を行い、投票によって決定されています。

議会の独立性を維持し活動するためにも、飯綱町に学ぶべきことは沢山ありました。私たち議員は多くを学び、町民の信託に答えなければなりません。



飯綱町議会議員との意見交換

中新川広域行政事務組合

7月11日臨時議会が開催されました。平成28年度介護保険事業特別会計では減額補正予算など専決処分2件を承認し、平成29年度同会計補正予算を可決しました。

昨年10月に開設した中新川訪問看護ステーションの3月末での利用者が164人で、訪問延べ数が4,278人（月平均713人）と報告がありました。

臨時議会終了後には、研修視察に出発。最初の訪問先は、下水道汚泥を搬入している住友大阪セメント株式会社岐阜工場です。下水汚泥がセメントの材料として使われている様子を見学しました。

次の訪問先は、積水化学工業株式会社の滋賀栗東工場です。下水管の製造や下水管の更生工法について伺いました。また、災害発生時の緊急避難場所における防災トイレを見せたいいただきました。購入を検討されている自治体もあり、上市町も調査研究の必要を感じます。



滑川中新川地区広域情報事務組合 (Net3)

1日目、東近江ケーブルネットワーク株式会社を視察しました。この会社（愛称スマイルネット）は、滋賀県東近江市をサービスエリアとしています。ケーブルテレビ放送、インターネットおよび電話事業を業務とする、第三セクターのケーブルテレビ局であり、東近江市より整備されたFTTH方式のケーブルテレビ施設によりサービスを実施する「公設民営」方式で運営されています。

コミュニティ放送では、学力向上番組「まなびっこ」の制作放送に取り組み、市内の小中学校で配布されるDVDを1200組製作されました。データ放送では、天気予報、おくやみ情報「安心安全」をお届けサービスに努めておられます。

2日目は、パナソニックセンター大阪を見学しました。ここはパナソニックのグローバル情報発信拠点であり「すべてはお客さまのために」を原点に、館内を自由に見学でき、ショールームでは最新の設備はどんな機能やデザインがあるかなど最新機器を見て触って体感できる素晴らしい展示場がありました。



ケーブルテレビ担当者との意見交換

町民の声 紹介



法音寺
山本 悟さん

ふるさとに帰り三年
退職を機に、上市に帰り三年たちました。町内の方々や、子供の頃からの友達にも親切に声をかけてもらい、毎日楽しく過ごしています。
子供たちも独立し、夫婦二人ということもあり、初めて犬を飼うことにしました。健康のためにも、毎日の朝夕の散歩で、町中を見て回るのが楽しみです。趣味のジョギングでも一緒に走り、春の早朝には水の入った田に映る逆さの剣岳を見、上市川左岸の満開の桜並木を通り、榎並木で森林浴、さっかの寺で手を合わせ、両親の墓を参り帰ってきています。
大岩から大観峰に向かう道では、目の前を大きなイノシシが横切りびつくりしたこともありました。これからも趣味の彫刻で粘土をこねたり、小さな畑で野菜など作っていききたいと思っています。素晴らしい上市の自然をいつまでも守っていただきたいと思います。



旅館 だんごや
若女将 滝川佐季子さん

大岩「だんごや」若女将の奮闘
旅館だんごやの長男と結婚し、旅館の若女将になりました。何もわからない中で、女将の後ろを追いかけるように頑張っています。
しかし、今年の夏は、大岩そうめんを味わえるのは三軒しかありませんでした。また、旅館も二軒になり寂しく思うことや、この賑わいがいつまでも続いてくれることを願ってやみません。
さて、だんごやのホームページでは英語、韓国語など多言語で観ることができます。「自慢の山菜料理」が味わえる宿の予約ができます。また、「自慢の山菜料理」が味わえる宿の予約ができます。また、一般の予約サイトでも宿泊を予約することができます。
これからも、日石寺を中心とした空間が、上市町の観光名所として、今後とも賑わいを持ち続けられるよう、上市町や町議会のご協力とご支援をお願いいたします。



議会傍聴しませんか。

日程は、町広報とホームページで確認願います。

お知らせ

「声」の募集
町民の声コーナーに、ひと言お寄せいただける方を募集しています。各議員または議会事務局までお知らせください。

会議録の閲覧

インターネット上で本会議の会議録の検索や閲覧ができます。(定例会終了後約2カ月後に更新されます。)

アドレスはこちら

町ホームページ「議会会議録検索」または、
<http://www.town.kamiichi.toyama.dbsr.jp/>

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 成川 友仁 |
| 副委員長 | 伊東 俊治 |
| 委員 | 松谷 英真 |
| | 平井 妙子 |
| | 伏黒日出松 |
| | 酒井 桂之 |

編集後記

広報という概念は、日本の歴史では比較的新しく登場した言葉だそうです。団体と公衆との良好な関係づくりを意味する英語のパブリック・リレーションズ(頭文字をとってPRと表記)に当たる日本語として、戦後「広報」の普及が図られたとのこと。

PR(ピーアール)という、なんとなく広告・宣伝を想像します。ですが本来の意味は、双方向の「関係づくり」であって、一方的な宣伝とは異なるものなのです。

さて、この顔ぶれで編集を行う議会広報は、今号が最後です。委員が交替しても、住民に見える議会、住民の声を聴く議会として、良好な関係づくりに邁進いたします。

委員長
成川 友仁

連絡先 上市町議会

〒930-0393 富山県中新川郡上市町法音寺1 ☎076-472-1111 FAX076-472-1115 ホームページ <http://www.town.kamiichi.toyama.jp/>